

C.COM

vol. 78
2020.Nov



核兵器禁止条約
発効へ

平和とより良き生活のために

広島県生活協同組合連合会

非人道的な核兵器ゼロへの道



広島県生活協同組合連合会

会長理事 岡村信秀

2020年10月24日、「核兵器禁止条約」の批准国が50カ国・地域に達し、条約は2021年1月22日に発効することが確定しました。この間、被爆者を先頭に、多様な市民団体や個人、さらには国際NGO、各国の先駆的なリーダーなど多くの人々が連帯し、粘り強い運動を続けてきました。條約は全20条で構成され、核兵器の非人道性を根幹に核兵器の使用・威嚇や開発、保有

など関連活動を全面的に禁じたものです。よって、核兵器はその非人道性から人類と共存できない「絶対悪」という「規範」が国際社会の中で確立したことになります。

一方、核保有国や日本を含めた同盟国は「核抑止力」を根拠に今なお条約に背を向けていたため、核兵器ゼロへの道のりは今なお厳しいといえます。その意味で、現段階は、これまでの歩みの再整理と有効的な活動の継続が一層求められます。

今から半世紀前の1970年代は、核拡散と核軍拡に歯止めがかからず、世界の核兵器は5万発に近づこうとしていました。そのような中、1975年9月、湯川秀樹・朝永振一郎両博士は世界の多くの科学者とともに、「核抑止を超えて」を宣言し、「核抑止論」の誤りを指摘しました。宣言の中で両博士は「自然と人類の共生、人間が人間らしく生きられる新しい世界の秩序の創造、核戦争は破局的な災厄と破壊をもたらす。よって、核兵器を戦争や恫喝の手段にすることは、人類に対する最大の犯罪である。」と国際社会に訴えました。

その後、国際社会では「核兵器使用の違法性」運動が広がり、国内においても被爆者を中心にも多様な市民団体が連携し、「世界法廷運動」が全国的に展開され、1995年6月には、全国の生協がハーグに代表団を派遣し、核兵器の違法性を訴えました。同じ頃、ハーグの国際司法裁判所において、当時の平岡敬広島市長は「無差別で残虐な被害をもたらす核兵器は国際法に違反する」と被爆の実相を指し示し証言しました。そして、翌年199

6年、国際司法裁判所は「核兵器はその非人道性と放射線障害から、核兵器の使用・威嚇は一般的に国際法に違反する。」と勧告的意見を下しました。すなわち、この時、「核兵器の違法性」が国際社会の場ではじめて裁断されたのです。そして、1997年にモデル「核兵器禁止条約」が発表され、条約発効へと運動が引き継がれていきます。

一方、主要核保有国が参加するNPT（核拡散防止条約）再検討会議でも協議がはじまり、2000年の会議では「最終文書」で核保有国による「核兵器廃絶に向けた明確な約束」が明記され、2010年には「核兵器禁止条約への交渉の検討」が盛り込まれました。2015年の会議は「最終文書」は採択されませんでしたが、法規制を特定する「作業部会」の設置が提言され、会議後も継続的に協議が進められ、2017年7月、122カ国の賛同を得て「核兵器禁止条約」が採択されました。

半世紀にわたる連帯の成果は希望に光が灯つた大きな第一歩といえます。今後はこの条約に反発する核保有国やその同盟国が立ちかかることが予測されるため、「国際規範」が確立した今、各國・各地域で多くの人々に支持されるための世論喚起が重要となります。さらには、核兵器ゼロへの道をゆるぎないものにするために、条約の批准国を増やす活動も継続して行う必要があります。とりわけ唯一の被爆国日本政府に対しての要請活動は国際社会のなかでも注目されているため、被爆地広島で活動する私たちはその声に応える責務があります。

核兵器禁止条約 発効へ！



集会で挨拶する湯崎知事、松井市長、被爆者団体代表の皆様

10月24日、「核兵器禁止条約」発効に必要な批准が50カ国に達し、2021年1月に条約が発効されます。被爆者の長年の願いである核兵器廃絶に一歩近づきました。

翌日の10月25日、広島県生協連は広島被爆者7団体の呼び掛けに協力して、平和首長会議やピースボート・ICAN、被爆者団体とともに、原爆ドーム前で被爆者団体の代表や湯崎英彦広島県知事、松井一實広島市長等、約170人が参加した「核兵器禁止条約批准50カ国を祝い、さらなる前進を誓う会」に参加しました。核兵器禁止条約の発効確定を被爆者団体の方々と共に喜びました。

被爆者団体の皆様と一緒に取り組んできた「ヒロシマ・ナガサキのヒバクシャが訴える核兵器廃絶国際署名」は広島県内の署名数が819450筆（9月現在）になり、全国では12612798筆に達しました。一筆一筆に願いが託された署名は、核兵器禁止条約発効の大きな力添えになりました。

しかし、核保有国や日本などの核の傘の下にある国は、この条約に参加しておらず、核兵器廃絶には、ここからがリスタートであり、核兵器と人類は共存できないという世論形成に向けた新たなスタートになります。世界の50の国・地域が批准したことは、条約への多国間主義が動き出していることを象徴しており、条約の発効は核兵器廃絶への具体的な議論を始めるため、大きな一步となりました。

（報告：広島県生協連 福島守）



原爆ドーム前で横断幕を掲げる参加者

発効まで カウントダウン！

核兵器禁止条約発効を前に、広島県被協の箕牧智之理事長代行が、自宅前に発効までの日数を示すカウントダウンボードを設置しました。発効まで数字を毎日入れ替えて残りの日数を表示します。箕牧理事長代行は、「条約発効は核兵器廃絶に向けて勇気をもらつた。この条約をたくさん的人に知つてもらい、核兵器廃絶への声を上げ続けたい」と力を込めて話されていました。



カウントダウンボードと箕牧理事長代行

コロナ禍と大学生

ほっけん!



新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を振るう中、広島県内でも人々の生活に大きな影響を与え続けています。5月に緊急事態宣言が発出され、全国の大学では、大学閉鎖、オンラインによる授業が中心になり、大学生の生活は大きく様変わりしました。

今春、全国の大学生協がアンケートを実施したところ、約6割以上の大学生が、アルバイト収入が減少するなど新型コロナウイルス感染症の影響で生活に困窮している実態が浮かび上がりました。

特に1年生にとっては、入学後に友達をつくることができないことで、話し相手や相談相手がおらず、自室にこもり一人で過ごす日が続きました。そのような中、広島県生協連では、困難に直面している大学生への支援について大学生協から要請を受け、相互扶助の観点から広島県内の協同組合が連携して、大学生への激励として食料品を届ける支援を企画しました。

広島県協同組合大学生応援プロジェクト

大学生へ「食の支援」を実施するにあたり、6月に広島県協同組合連絡協議会（HJC）、JAグループ広島に連携した取り組みの提案を行い、「広島県協同組合大学生応援プロジェクト」を立ち上げ、協同組合で支援することになりました。

協同組合が学生支援に取り組む目的

協同組合間協同の取り組みとして、以下の目的をもつて食の支援を実施しました。

①次世代を担う大学生に対して、質の高い教育の場を持続的に提供できる環境づくりに貢献する。
②地域社会資源の一翼を担う協同組合として社会活動への参加と地域コミュニティへの関与を強める。

③JAなど広島県協同組合連絡協議会に協力を呼びかけ、協同組合間協同を発揮することにより、地産地消や地域循環型経済と社会づくりを推進する。

支援する大学は大学生協がある広島大学、広島修道大学、福山市立大学に加え、JAグループ広島と「食育」

大学、比治山大学、短期大学、山陽女子短期大学の6大学を支援することとし、できるだけ多くの大学生に商品を届ける準備を進めました。支援商品は、県内産新米（2キロ）とコーポ商品（レトルトカレー、カップ麺、缶詰等）。

新米は、西日本豪雨災害からの復興のお手伝いを目的に、被災された農家のお米を中心に用意しました。

9月中旬から、一人暮らしをしている大学生への案内を開始し、大学の協力を得て、メールやホームページで募集しました。その結果、想定を上回る、2171人からの申し込みがありました。

支援物資のお届け（広島大学贈呈式）

10月1日、広島大学東広島キャンパスの大学会館において、支援商品の贈呈式を開催しました。贈呈式には、広島中央農業協同組合河野孝行組合長、広島県農業協同組合中央会横山英治専務理事、コープCSネット小泉信司理事長、広島県生協連高田公喜専務理事が出席し、広島大学生協細野賢治理事長に目録を贈呈しました。



笑顔の広大生と広大生協吉山専務理事
(写真：前列右から2人目)

広島大学は全学生約15000人のうち、約7割が県外出身者で留学生も多く、1286人の申し込みがありました。贈呈式の終了後、コロナ対策を施し大学生へ商品を手渡しました。お届け開始時刻の前から、受付にはエコバッグを持った大学生が長蛇の列をつくり、

開始を待ちわびていた様子でした。受付

で学生証を提示して、事前申し込みの確認を済ませた大学生は、順番に並べた商品を受取りました。

大学生協の学生委員の協力もあり、10月1日、2日の2日間で、740人に商品をお届けし、その後、オンライン授業で自宅待機している大学生に連絡して、商品を受け取りに来ていただきました。



比治山大学へ支援商品をお届け



広島大学へ支援商品をお届け

他の大学への商品お届け

福山市立大学は10月1日にお届け、比治山大学・短期大学、山陽女子短期大学の両大学は、10月14日に贈呈式を行い、商品を届けました。安田女子大学・短期大学は、大学の協力により、10月8日から3日間でお届けしました。

広島修道大学は、構内への入構制限が続いているため、申し込んだすべての大学生に、宅配便でお届けしました。

比治山大学の石井学長は「県内産米をはじめて多くの商品と学生への応援メッセージをいただき、感謝しています。他県で大学生に食料品を届ける話を聞いたが、広島県でも支援があり、大変うれしい」と贈呈式で謝辞を述べられました。

申し込みのあつた2171人、すべての大学生に支援商品を届けることができました。

大切にいただきます。」

など、感謝の言葉が返ってきました。

一人暮らしの大学生は、私たちが想像していた以上に、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい生活を送っていることが、改めて伝わってきました。

今回の取組みで大学生に、「協同組

合は、大学生の皆さんを応援していくます。」というメッセージを伝えることができました。

コロナ禍を乗り切り、大学生が本来のキャンパスライフを過ごせる日が、早く来るこどと願っています。



お届けした商品は、県内産新米(2kg)とコープ商品

支援物資を受け取った大学生の声

お届けの際に、商品と一緒に応援メッセージをお届けし、インターネットを利用して感想をお聞きしました。

大学生からは、「協同組合の皆様のおかげで、本当に助かりました。支援

を本当にありがとうございました。」

「一人で心細かったのですが、応援してもらっているんだと思うと、もう少し頑張ろうと元気が湧いてきました。

学生に、宅配便でお届けしました。

比治山大学の石井学長は「県内産米をはじめて多くの商品と学生への応援メッセージをいただき、感謝しています。他県で大学生に食料品を届ける話を聞いたが、広島県でも支援があり、大変うれしい」と贈呈式で謝辞を述べられました。

申し込みのあつた2171人、すべての大学生に支援商品を届けることができました。

今回お届けした商品は、県内産新米(2kg)とコープ商品



生協の情報 INFORMATION

November

ヒバクシャ国際署名 活動自粛 の中、広島県で819450筆！

広島県生協連は、両広島県被爆者団協を中心とした広島県内の被爆者団体と「ヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会」を立ち上げ、署名活動を推進してまいりました。

口ロナ禍と平和 広島県生活協同組合連合会

広島県生協連は、全国の生協の仲間や行政、被爆者団体、市民団体の皆様と「戦争も核兵器もない平和な世界」の実現に向けた平和活動を行っています。今年度はコロナ禍により活動が制約される中、工夫して取り組みを進めてまいりました。



街頭署名の様子



左から広島YMC A殿納総主事、広島県被団協佐久間理事長、広島県被団協箕牧理事長代行、広島県生協連岡村会長

市民6団体 平和行進を中心とした慰靈碑へ献花

広島平和公園にて、市民6団体（両広島県原爆被爆者団体協議会・広島県地域女性団体連絡協議会・広島県青年連合会・広島YMC A・広島県生協連）による原爆死没者慰靈碑へ献花を行いました。

行政の協力により、広島県内の署名数は819450筆（2020年9月15日現在）という大きな数の署名を集めることができました。署名は国連に届けられると予定です。

街頭署名活動にも2017年3月から取り組み、2019年度末で12回開催しました（3062筆）。今年度はコロナ禍により、活動を自粛してまいりましたが、署名活動のまとめとなる最後の街頭署名を11月24日広島平和公園元安橋で行います。

2020ピースアクション～ヒロシマオンライン開催で参加者アップ！

毎年8月6日前後に開催している「ピースアクション・ヒロシマ」ですが、今年度は新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、全国から広島への参集に代わり、動画配信・オンラインを活用した形式で開催しました。

分科会はweb会議ツール（Zoom）を用いた参加と、その様子を配信するYouTubeの視聴で行いました。また2つの分科会では、Zoomを使ってグループワークも行いました。「虹のひろば」ではYouTubeで広島長崎両市長のメッセージ・地元の中高生の活動を紹介する動画・被爆の証言・講演等を配信しました。

- ①「ヒロシマの心をあなたへ
る被爆者の思いを知りう
る未来・次世代に平和な世界
をつなげるために私たち一人
ひとりが行動しよう

イング会、広島平和公園内にある慰靈碑について解説動画を交えて学ぶオンライン碑めぐり、「被爆75年平和の活動の軌跡（DVD）」、「安田女子大学書道学科大書パフォーマンス」、「基町高校原爆の絵」、「福山工業高校VR映像」の映像は事前収録して動画再生を行いました。

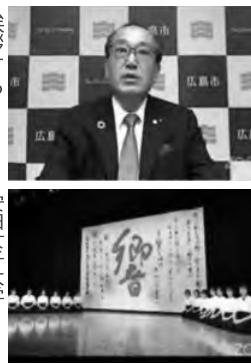
実参加者総数はヒロシマ・ナガサキ合計で、100生協のべ約6000人が参加しました。参加の幅が大きく広がりました（例年は3500人～3800人）。



挨拶する
田上長崎市長

挨拶する
新谷美樹子さん

オンライン碑めぐり
オーライ



挨拶する
松井広島市長

大書パフォーマンス
安田女子大学

（報告・広島県生協連 福島守）

連携



生協の組合員でよかつた・職員でよかつたと言える事業を連携の力で

三生協（生協ひろしま・広島中央保健生協・広島医療生協）連携協議会

なぜ三生協が一緒に取り組むのか

購買と医療と組織は違つても同じ生協の仲間で力を合わせれば、もっと組合員ニーズに応えられるのではないか」

三生協は2017年10月に「地域連携と事業・活動の推進に関する協定書」を締結しました。その内容は地域包括ケアの推進と地域の生活ニーズを総合的に支えていく為に共同事業化と地域資源の有効活用、さらには組合員の自主自発を尊重した連携を促進します。その第一歩として介護事業の質の向上と発展を三生協共同で取り組みます。



講師の大國康夫常務理事



介護の質・経営の質向上と職員の働き甲斐向上を目指す

2020年2月に視察した社会福祉法人協同福祉会（奈良県）では、10の基本ケアを中心に据えて「担当する圏域内の組合員・高齢者は責任をもつて最期まで支える」という方針で事業活動を開展。イキイキと働く職員の姿と「ここで生活できて幸せ」という利用者の姿を見て、私もちもこのような介護をしたいと10月から各種研修を開始しました。



グループ発表「医療本位から本人・在宅本位のケアへ」



講師の茶谷公嘉園長



グループ発表の様子

介護の質・経営の質向上と職員の働き甲斐向上を目指す

2020年2月に視察した社

会福祉法人協同福祉会（奈良県）

では、10の基本ケアを中心とした加速し、地域で生活する高齢者を支える「くらしを見る視点を持った看護師」の役割が大きくなる中、先進事例であるオーナードのビュートゾルフ（看護師が中心となつた在宅ケアの仕組み）の実践を交え学びました。

講師の大國康夫常務理事からは、「馴染みの人間関係を最期まで支える仕組みが大切」「看護師が変われば地域が変わる」とアドバイスがあり、在宅ケアのリーダーとしての役割と期待等を学びました。

● 在宅ケアのリーダー看護師育成研修（10月14日、参加者51名）

2025年に向けて医療・介護制度が病院・施設から在宅へ

と加速し、地域で生活する高齢者はCコースの講師養成で全8課題を今後4日間で学習します。

講師の協同福祉会養護老人ホームかんざん園茶谷公嘉園長から、「10の基本ケアは、なぜこの取り組みが必要なのか考え方行動する力を身につけることが大切です」と話されました。参加者は「感染予防や汚物処理は繰り返しの実習で不十分さがよく分かった。早速自職場でも学習し実習する機会を作りたい」との感想がありました。

● 10の基本ケア講師養成講座C（10月15日、参加者24名）

10の基本ケアはC→B→A→

マイスターの4段階あり、今回

● 介護幹部育成研修（10月16日、参加者28名）

講師の大國康夫常務理事より、各生協のリーダー候補に対

して①夢（仕事の目標）を持つ

②夢に向かって組織文化、職

員体制をつくる③チームで目

標を達成するために人材育成

する④10%以上の収益を出して

事業を発展させる⑤新規利用者

を増やすという5つの柱で講義が

ありました。「一人の利用者を

中心にしてケアの実践を通して

連携することが大切。職員が地

域の事を語ること、地域のサ

ロコンで自分の事業所を語れるよ

うになる組織文化をつくろう。」

とメッセージをいただき、地

域毎のグループに分かれて課題

を整理し報告しました。

要請

広島県へ新型コロナウイルス 感染症に関する要請を

感染症に関する語彙

感染症問題

括協定に基づき連携を強化して
まいりました。

広島市健康福祉局 保健医療担当局長と懇談しました

関する問題認識、考え方は共感、合致する点が多い。情報交換の場を設けたい。今日の懇談内容は民生部門担当局長や担当幹部職員とも共有する」と述べられ



郁子環境県民局長はじめ小川元史環境県民局総括官、佐伯美香消費生活課長、健康福祉局各部署から9名の方にご出席いただき、広島県生協連からは、岡村信秀会長理事、高田公喜専務理事、大野正喜常務理事（広島中央保健生協専務理事）が出席しました。

新守屋長から、新形二〇二六
イルス禍の中、大学生の生活ア
ンケート等、貴重なデータを示
しながらの報告への感謝と、今
後の連携強化をお願いしたいと
協力と信頼関係構築にむけたコ
メントをいただきました。



広島県の出席者



生協連の出席者

広島県生活協同組合連合会
担当局長と懇談しました

阪谷局長より要望として、生協は地域の中心となる法人であり、広域・市域を視野に入れた事業戦略の検討と、高齢者の口腔衛生について、オーラルフレイル予防や栄養・食の取組みについて今後連携してほしいと期待を述べられました。

これを機会に、広島市との連携を強化していくたいと思います。

(報告) 広島県生協連 福島守

セミナー

県連生協セミナー 開講！ 広島県生活協同組合連合会

広島県生協連は、県内15会員生協の中堅職員を対象とした県連生協ゼミナーを昨年に続いて開講しました。将来を担う職員育成を目的に、マーケティング、地域社会連携、平和、協同組合論、SDGs、ジャーナリズムなどの専門分野から講師を招聘し、座学とワークショップを組み合わせたカリキュラムを5回シリーズで新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を施して開催しています。

【第1講】(8月28日)

場所●TKP広島本通り駅前カンファレンスセンター

参加●受講生26名

講師●広島経済大学メディアビジネス学部学部長教授 北野尚人氏
テーマ●「生協の未来へ向けて、近未来予測と次世代職員の行動指針」

10年後の社会構造はどう変化

するのか。A-IやI-O-T等の情報処理化や省力化が進む近未来社会に、私たちはどう対応するのか。社会や市場変化の構造を学び、その知見力の習得が狙いで

開催しました。

既成概念の打破、発想転換の必要性、情報過多な中で一方的な情報発信から双方での共創関係へと転換していく必要性等が説かれ、若いビジネスマンの問題意識と課題発見力、課題解決力が、「誰もが経験したことがない日本」の未来を創る。と述べられました。

【第2講】(9月18日)
場所●合人社ウェンディひと・まちプラザ
参加●受講生23名

講師●元広島平和文化センター理事長・平和活動家 スティーブン・リーパー氏
テーマ●「広島発、核なき世界の実現に向けた市民による平和活動を考える」

世界の核兵器をめぐる最新情勢を学び、市民社会が主体的に取り組む平和活動について習得

する」と。また、国際感覚あるロビー外交テクニックに学び、コミュニケーション力向上手法を習得することを狙いとして開講しました。

ステイブン・リーパー氏は、

核兵器の恐怖と世界の核保有の現状を資料映像で説明され、自身で三次市に開設された「平和文化村」の活動内容を紹介し、核兵器廃絶と持続可能な生活を実践するために、「生協が平和を訴える中心でなくてはならない」と、受講者に力強く語られました。

持続可能な社会、相互扶助の心の大切さを説かれたことが心に響きました。

【第3講】(10月9日)

場所●広島県立総合体育館中会議室

参加●受講生26名

講師●日本生活協同組合連合会専務理事 藤井喜継氏
テーマ●講義①「協同組合とは、共に生きる社会をめざして」「講義②「誰一人取り残さない、ずっとつづく世界をめざして」SDGsを知って、考えよう」

講義①では、DVD「ロツチデールの人々」の鑑賞と講義により、協同組合の原理・原則を学びました。さらに藤井専務理事は、協同組合の目指すもの、目指してきたことを基に、人、自然、地域と“共生”する社会へ、『21世紀は協同組合の出番』であると受講生へエールを送りました。

続く講義②では、SDGsをめぐる世の中の動きを学び、生協・協同組合の理念は、まさにSDGsにつながること、SDGs 17の目標の多くに関わる事をもつて活動していることを認識しました。

講義を通して、生協の価値と理念に確信を持ち、生協で働くことの誇りと挑戦意欲を持つことができました。

最後に藤井専務理事から、「組織は、リーダーが持つ夢以上にはならない。」「地域づくりは自分の生協だけでなく、他生協、企業、組織と力を合わせることが大事である。」とメッセージージをいただき、終了しました。



ワークショップの様子



第2講 会場の様子



第1講 会場の様子

**東広島市と連携し、
子育て支援センター、
放課後児童クラブを新設**

生活協同組合ひろしま

生協ひろしまは、2019年10月の東広島市との『包括的連携協定』の締結を起點に、子育て支援の一環として市内施設36か所の施設での「はじめてば」の告知や、「こども未来フェスタ」、「熟年大学」への共催など、協定項目に基づき連携した取り組みを進めてきました。

11月2日、東広島市との連携をさらに一層進めていくため、生協ひろしまの店舗、「一平東広島の敷地内に官民協働による子育て支援施設「こども「ひらぎひがしひろしま」を開設しました。施設は店舗のテナント跡地の130平方メートルの敷地を改修して建てられ、未就園児を対象とした「子育て支援センター」と、小学校の児童を対象とした「放課後児童クラブ

」の機能を持ち、支援員3名が常駐し、時間帯で機能を切り替え運営を行います。

子育て支援センターは予約制で、日曜日から木曜日の午前9時から午後2時の間で利用ができます。子育てセミナー・ベビーマッサージなどイベントの開催も予定しています。「放課後児童クラブ」は近年、宅地開発が進み、人口増加で児童クラブの定員が超過している市立寺西小学校、龍王小学校の児童を対象に、平日と土曜日の放課後から19時まで開所し、広島大学の学生による学習支援を受けられるほか、産地見学や農業体験の企画も予定しています。

施設は親子で過ごせる広々としたスペースをもち、保育室や相談室も備え、また店内から施設内を見ることができ、買い物と合わせて利用ができるのも特徴。商業施設内に子育て支援施設を開設するのは県内で初めての取組みとなり、官民が協働での自治体からも注目されています。

(報告：生協ひろしま 大山敏明)



放課後児童クラブ：大学生が学習支援



保育室から店内が見られます



開所式、テープカット

2020年度通常総会 開催報告

■開催日	2020年6月24日（水）
■場所	T K P 広島本通駅前カレンスセンター
□議案	
第1号議案・2019年度活動報告ならびに決算報告承認と 剩余金処分案承認の件	
第2号議案・2020年度活動方針ならびに収支予算案決定の件	
第3号議案・役員補充選任の件	
第4号議案・規約の一部改定の件	
※全議案可決承認	

【2020年度役員体制（新任・退任）】

（新任）常務理事 大野正喜（広島中央保健生活協同組合 専務理事）
（退任）常務理事 盛谷博文（広島中央保健生活協同組合 副理事長）

第2回理事会報告

■開催日6月24日

■出席理事18名中16名出席

○議決事項

・新型コロナウイルス禍による大学生食の支援・組織協力金の拠出について
・報告事項

□報告事項

- ・広島県への要請（新型コロナウイルス感染症に関する要請）報告
- ・第36回生協・行政合同会議（広島）の開催延期について
- ・2020ピースアクションフォーラムシマ開催報告
- ・市民6団体による慰靈碑への献花式開催報告
- ・ヒバクシヤ国際署名広島県推進連絡会活動報告
- ・国際平和デー記念行事について
- ・2020県連生協ゼミナール（第1講、第2講）開催報告
- ・三生協連携協議会の進捗報告

第2回組織平和委員会報告

■開催日6月9日

○主な協議・報告事項

- ・2020ピースアクションフォーラムシマの振り返り
- ・ヒバクシヤ国際署名広島県推進連絡会活動報告
- ・新型コロナウイルス禍の影響による大学生への支援活動について
- ・けんこうチャレンジ2020の取り組みについて
- ・食品ロス削減の推進に関する基本的な方針（消費者庁）
- ・広島県消費者基本計画（第3次）について



広島県庁からのお知らせ

プロのシェフが教える クラムチャウダーのレシピ

広島県では、優秀な若手料理人を発掘するため、毎年「料理人コンクール」を開催しています。このコンクールで優秀者に選ばれた料理人には、海外のレストランでの修業を支援するなど育成にも力を入れています。



今年度のコンクール

さらに、コンクールの優秀者など県内で活躍する料理人に協力いただき、取り組んでいるのが県内の学校への出前講座です。小・中・高校生の食や調理への理解・意識を高めるため、平成26年から実施しています。

令和2年10月20日に三次市立十日市小学校で開催した出前講座では、チキンピラフやドライカレーを作りました。

目の前で見るプロの技に子供たちから歓声が上がりました。

当日の講師は、栗山 和也さんと西村 直貴さん。

お二人とも、いま広島で注目されている若手料理人です。

栗山さんはコンクールの後、フランスのミシュラン星付き

レストランで修業されています。また西村さんは現在

「広島ベイクリーズ銀河」にて腕を振るっておられ、

来年修業のため渡仏される予定です。



牡蠣とキノコの豆乳クラムチャウダー

旬を迎える牡蠣を使ったレシピを、栗山さんに教えていただきました！

【材料】(約4人前)

豆乳…300ml 玉葱…1玉 人参…1本 ジャガイモ…2個 セロリ…1/4本

しめじ…1パック スライスベーコン…4枚 オリーブオイル…大さじ2 薄力粉…大さじ2

固体コンソメ…2個 塩・胡椒…適量 広島県産牡蠣(加熱用)…1パック 水…400ml 料理酒…50ml イタリアンパセリ…適量

【作り方】

1. 玉葱、人参、ジャガイモ、セロリは1.5cm角に切り耐熱容器にのせてラップをかけて電子レンジの600Wで4分間加熱する。
2. ベーコンは2cm角に切り、しめじは子房に分ける。
3. 牡蠣をボールに入れて塩水(分量外)で軽くもみ洗いする。流水で汚れを洗い流して水気を切る。
4. 鍋に水と料理酒を入れて沸騰させる。牡蠣を入れて再沸騰させ2分加熱。牡蠣の身だけを別皿に取り出してラップをかけ取り置く。
5. テフロンのフライパンにオリーブオイル、ベーコンを入れる。弱火にかけてカリカリになるまで炒める。飾り用に少量を取り置く。
6. レンジにかけた野菜を加えてしんなりするまで炒める。
7. しめじと薄力粉を入れて1分間炒める。
8. 牡蠣の茹で汁と豆乳を入れて弱火で10分間時々混ぜながら煮る。
9. 固体コンソメと塩・胡椒で味を調整、牡蠣を加える。
10. 盛り付ける。取り置いたベーコンとパセリを飾る。



消費者トラブルの手口を知りましょう!⑯

適格消費者団体 NPO 法人 消費者ネット広島

インターネットを悪用した詐欺などの被害が後を絶ちません。消費者トラブルは身近なところに存在しています。
情報を知り、被害にあうことがないよう、また被害にあったときの対処法について、日頃から備えておきましょう。

契約前に十分な検討を! [高齢者サポートサービス]

(2019年11月12日 独立行政法人国民生活センター 見守り新鮮情報第352号より)

頼れる親族がない中、知人から紹介され、身元保証サービスや死後の事務手続きを代行する事業者とサポート契約をした。
「明日どうなるか分からぬ。一刻も早く預託金100万円を支払うように」と事業者から急がされているが、
契約内容の詳細な説明を受けていない。どうしたらよいか。(60歳代 女性)



❶身元保証や日常生活の支援、死後事務等を行う高齢者サポートサービスは、事業者によって提供されるサービスの内容や料金体系が様々です。契約をする際は、自分がどのようなサービスを望んでいるのかを明確にし、事業者にしっかりと伝えることが大切です。

❷契約内容や料金体系などをよく確認し、理解できなければその場で判断せず、周囲の人に相談するなどして、十分に検討しましょう。

❸自治体が高齢者支援のサービスを実施している場合もあります。お住まいの地域で提供されているサービスについても調べてみましょう。



困ったときは、早めにお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください。
(消費者ホットライン 188)

思い出の倍返し



毎年8月5日に、20年余り司会をさせていた
だしている『ピースアクション・ヒロシマ
虹のひろば』(日本生活協同組合連合会・広島
県生活協同組合連合会 主催)。ライフケーク
とも言える私の大切な仕事の一つです。今年
は、コロナ禍で初のオンライン開催となりま
した。私自身、右往左往でしたが、遠方の方
からもチャットでメッセージや感想などの反
応があり、新鮮な達成感がありました。ご参
加いただいた皆様、本当にありがとうございました。
けれども、より一層対面でお会いし
たくなったのも本音です。

この春、新型コロナウィルス感染拡大の恐



オフィス タマランズ代表
たまだ ようこ
パーソナリティー玉田陽子

RCCラジオでDJデビュー。その後TVレポーターも長く務める。
現在、ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会委員
月刊WEB版「シネマッド・旅マップ」エッセイ寄稿中。
サンフレッチャ広島スタジアムADJ育成中。
他に企業の新入社員研修講師も務める。
プロフィール写真撮影：堀越邦彦

怖に怯えながらの自粛中に、約40年前にパーソナリティーを担当していたRCCラジオ『ローバジア・ヒットパレード』、約30年前の広島工場エム『JOGU音楽プラザ』と『ときめきストリート』に届いていたお便りやリクエスト葉書を思い切って処分することにしました。段ボール箱に入った宝物です。最初は思い出にふけり一人で笑つたり涙ぐんだりして片づけは一向に進みませんでした。やはり、シュレッダーにかけることはできないと、リスナーご本人にお返しすることにしました。さらに、該当するリクエスト曲が私の本棚にあれば、そのCDも添えました。宛先不明で返ってきたレターパックも複数ありました。無事に届いたものの中から2つの再会をご紹介します。尾道の〈ラジオネーム山陽本線君〉には、かつての高校受験の悩みを綴ったお葉書と共にTMネットワークのCDを送りました。す

世界中でマスクをしてソーシャル・ディスタンスを取らないといけなくなりました。ランサムやメールでのやり取りが便利で当たり前になった今だからこそ、改めて人と人との温もりの大切さを強く感じています。コロナが収束したら彼らと絶対に会うことを楽しみに、私はコロナと戦っています。

これまで私は、ラジオを通して元気を発信しているつもりでいましたが、実はリスナーの皆様に支えられていたことに気づきました。

ぐに返信があり、手紙には「今、47歳。4人の子の父となり、休日には尾道や福山でライブ活動も行っています。音楽が好きになつたきっかけは、たまちゃんの番組でした。」と、ありました。お子さんと同じ年頃に自分が出した葉書がタイムスリップして戻ってきたことを驚いていました。一緒に尾道ラーメンも送っていただきました。

広島市の実家から無事に三原市に転送され

た〈ラジオネーム野球大好き少年君〉のリクエスト曲はM-i-k-e (ミケ)でした。現在は、薬業に従事され中学生2人の父親です。返信の手紙の筆跡は、中学の頃から変わっていませんでした。当時、私が書いたサイン色紙と私の名前が載っている新聞のコピー、そして名物のお菓子とみかんが返ってきました。その他に、

広島県生活協同組合連合会

〒730-0802 広島市中区本川町 2-6-11 第7 ウエノヤビル 5F
TEL:082-532-1300 FAX:082-232-8100
URL:<http://hiroshima.kenren-coop.jp>
e-mail:kenren.h@proof.ocn.ne.jp

編集後記

新型コロナウィルスが再び猛威（第3波？）を振るい始めた。広島県生協連は、困窮する大学生を支援するためにJ.A.グループ等と協力して「食の支援」を行った。就職も氷河期を迎える様相であり、大学生の心情を思うと可哀そうでならない。旅行業界や飲食業も大変な状況であり、学校行事、各種セミナー、生協の組合員活動も制限せざるをえない。どんな世の中になるのやら…。核兵器禁止条約が来年1月に発効となる。が、核保有国の動向も油断できない。被爆者の願いである核兵器廃絶にむけて知力を尽くす。（福島）